

Restricted Eighteen
R18
し
よ
う

FOR
ADULTS
ONLY
バ
イ
シ
ユ

@hagerock_salt
presents

島 春 売 女
Island
Girl Prostitution
Story by Nada_salt
Illustrations by Dexys

少

でやいす 作画
なだソルト 原作

前 編
成人向け

……長く
この島に
いるとき

お客が
どんな人か
大体一目で
わかるんだ

お兄さん

なんかの拍子に
ぽんっとお金持ちに
なっちゃった人でしょ

はあ、

宝くじとか
ギャンブルとか
えふえつくす？とか

はあ、

はあ、
はあ、
はあ、

はあ、
はあ、
はあ、



はぁ…
はぁ…
なんとなく
雰囲気で

わかるよ

自分で稼いだ
実感とか自信とか
そういうのがなくて



ただお金を
持て余してて
何していいか
わかんなくて
自暴自棄で

……ね、
合ってた？





あはっ
……

楽しい
使いまちが
見つかった

よかつ
たね



楽しんで
いってね
お兄さん

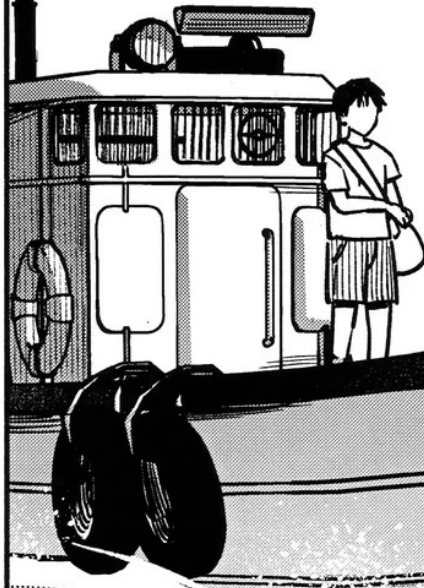
ようこそ
売春島へ



偶然に転がり
込んできた大金

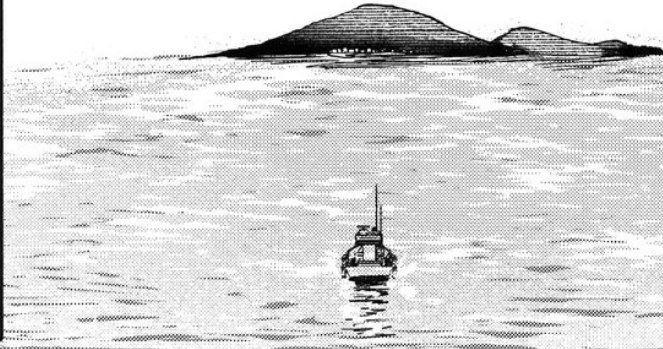
三十そこそこで
人生をあがって
しまった俺は

目玉が飛び出るほどの
金を払ってとある筋から
この船に乗る権利を買った



行き先は
無人島

公には
廃村がひとつ
あるだけの



かつて
漁師町として
栄えたその島は

今はこう
呼ばれている



売春島

お兄さんが
お客さん？

若いから
びっくり
しちゃった

あたしは
ハルノ

お兄さんの
お世話係だよ

さ、案内
するから
ついてきて

ここは昔さ、
遠洋に行く
漁師さんたちが
風待ちする場所だね

それで
花街なんかも
栄えたらしい
んだけど

今は見ての通り
寂れちゃってさ

だから
商売の仕方を
変えたんだ、
上の人たちが

会員制の
秘密のサービ
スってやつ？

ここが
花街だよ

島にいる間は
お兄さんの
貸し切り

お店は
女の子だけで
回してるんだ

その方が
特別な感じ
するでしょ？

でもまだ
ダメだよ

気に入った
子がいた？

ぎゅっ

最初はウチの
お店に来て
くんなきゃ

うふふっ

お客さん取るの
ひさしぶり
だからさあ

桃源

スル...

たっぷり
サービス
したげる

長旅で
疲れた
でしょ？

じっと
してて
いいよ

全部
まかせて

すっごい
蒸れてる

ふふっ
汗くさ

はむっ





だめだよ

今出そうに
なったでしょ？



おっと

最初はここに
出してくれなきゃ





クワッ

はは

ゴッ

クワッ

ゴッ

あははっ
いっぱい
出たね

ちよつと汗
流そっか

ゴッ

はは

ゴッ

お兄さんはね、
きつとあたしの
最後のお客だよ

ここの女の子は
16になったら
島を出るから

あたしもう
すぐなんだ

出てから
どうするって？

誰かに身請けされて
貰われていったり
本土のお店に
売られてったり

家族のもとに
帰る子は……
あんまりいないね

……ああ、
あたしの話？

……前は
いい人も
いたんだ
けどね



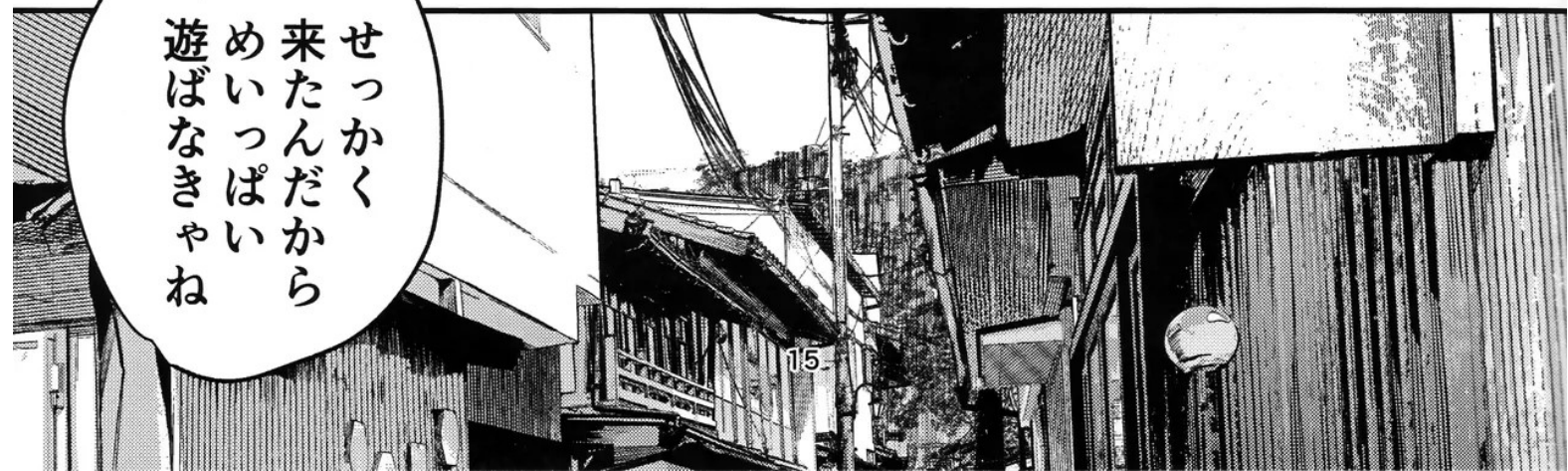
なんてね

お兄さんが
貰ってくれると
うれしいな



みんないい子
たちだよ

夕食の準備
しとくから
他のお店も
回ってきなよ



せっかく
来たんだから
めいっぱい
遊ばなきやね



島に来て
一度も大人の姿を
見ていなかった

ハルノの
言っていたことに
嘘はなさそうだ



時間に取り
残されたような
古びた街並み

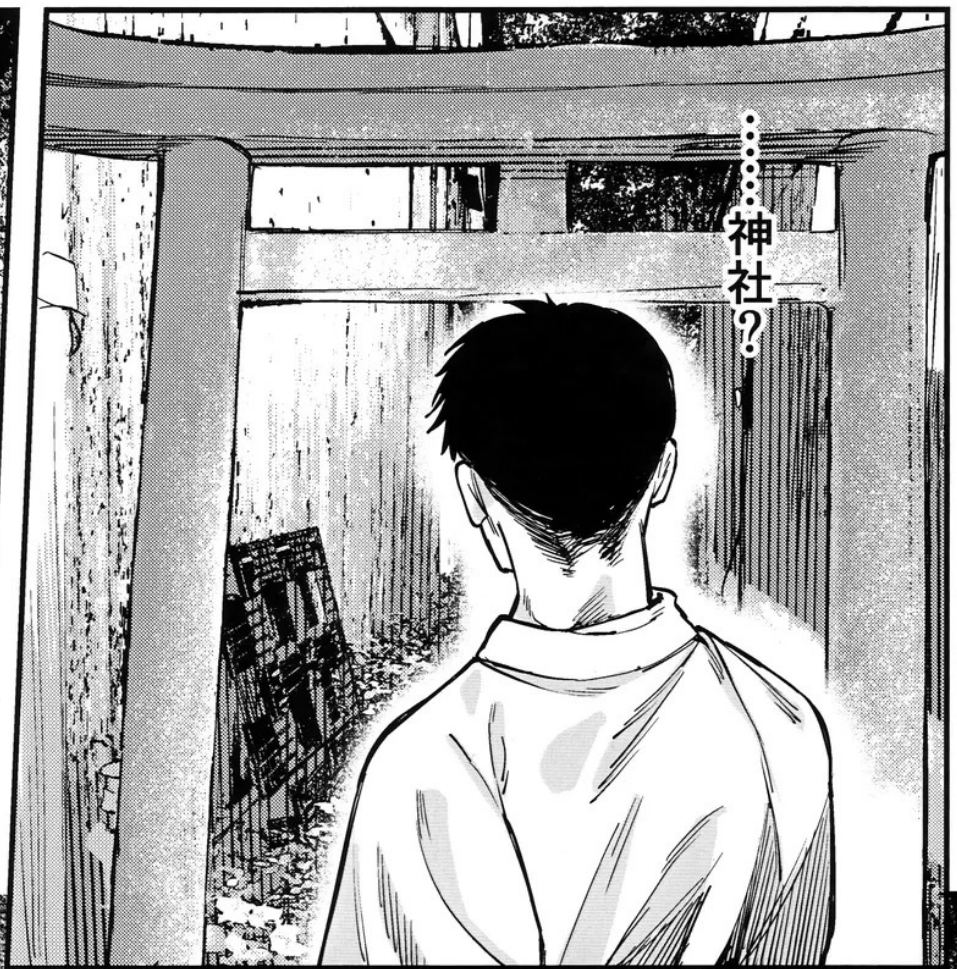
白い手をひらひら
させて男を誘う
あどけない笑顔

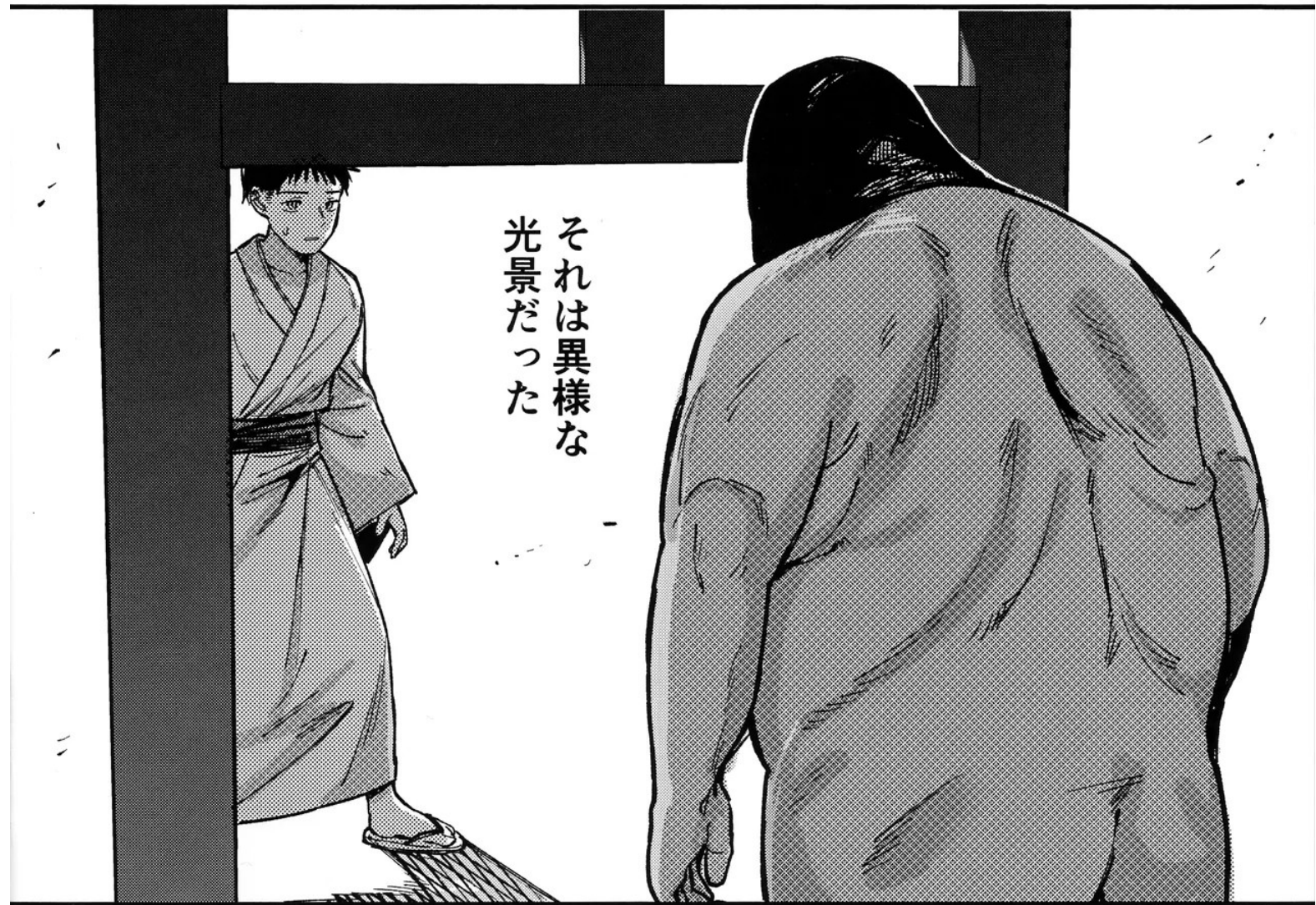
全てが
アンバランスで
めまいが
しそうになる



少女だけが
暮らす
楽園の島

白昼夢の中に
いるような
現実感のなさ





それは異様な
光景だった



こちらに
見向きもせず
花街へと
歩いていく



その虚ろな
目をした
裸の大男は



少女たちは
逃げもせず

こうべをたれ
手をあわせる



いつのまにか
男の逸物は
グロテスクに
怒張っていた

男はやがて
一人の少女の前で
立ち止まると

スッ



そのまま
少女を
犯した







ちよっと

ちよっ



だめだよ
邪魔しちゃ



アレは
気にしなくて
いいからさ

ボクは
青海楼の
ナツミ
ね、
うちの店に
おいでよ

いい景色
でしょ？

ウチの店の
自慢なんだ

……ん？
さっきの
アレ？

うーん……
神様みたい
なもの、かな

あたしらは
アガリビト
って呼んでる

そんなこと
よりさ、

……コレ♥

あんな
激しいの
見せられ
たらさあ

なんか興奮
しちゃった♥

鎮めて
くれる？

スル、
♥

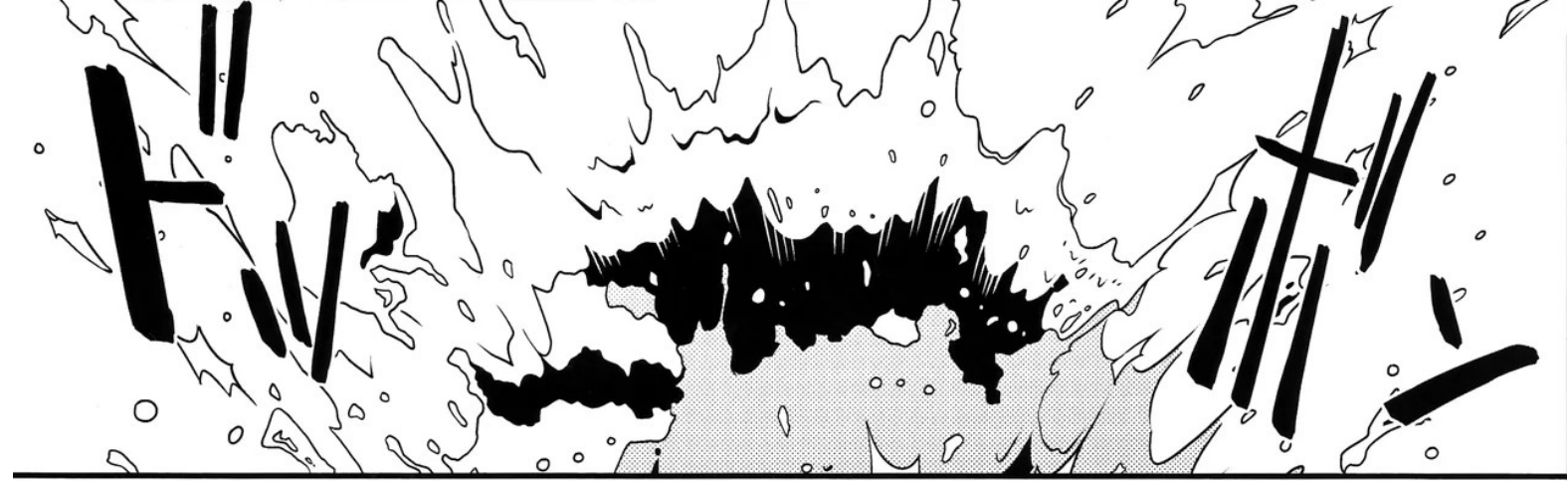
ボクやっぱ
セックス
好きだあ♡

もっと
シたいのに
男がいない
からさあ

慰めてよ
お兄さん♡

溜まって
るんだ♡





うい か〜

は〜
気持ち
いい……



みて
お兄さん

陽が
沈むよ

そっかあ、
ナツミちゃんところ
行ったんだ

元気な子
だったでしょ？

海が好きな子でね
この食材もあの子が
取ってきてくれたんだ

……そっか、
アレ見たんだ

気にするな……
って言っても
ムリだよ

アガリビトはね、
人間をやめて
高いところに
上がった人

普段はあんまり
山から下りて
こないんだけどね

あれには手出しも
逆らいたくない、
それが島のルール

お兄さんも
関わっちゃ
だめだよ

お山の方にも
近付いちゃダメ

そうすれば本当に
なんともないから

くひ

それより
さあ……

明日もまた
別のお店
行くんでしょ？

だから今夜
くらいは……

ね？

キラ……

はーちよっと
疲れちゃったあ

ちよっと
一服して
いい？

あ、穴は勝手に
使っているよお♡

あとはセルフ
サービスで
ヨロ♡

十回

すにゆるる...

ん♡

おっ♡



あゝ
そこそこ

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

お兄さん
上手う♡

お兄さんの
チンチン
硬くて
きもちい♡

決
めた♡

お兄さん
チアキの
好きピに
したげるう♡

ドキ

ズン
ズン
ズン

雪月花

……あの、私
見ての通り

マフユと
申します

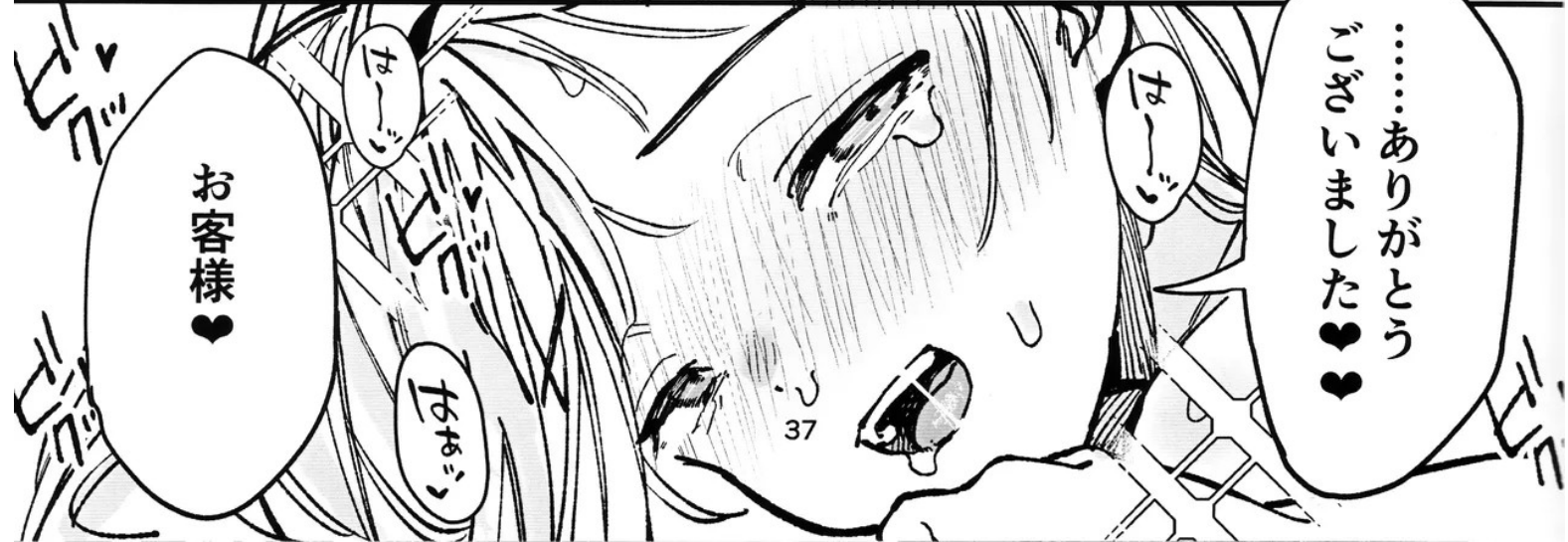
あまり身体が
丈夫では
ないので……

ズッ

……力いっぱい

犯して
くださいね♡





あつという間に
数日が経っていた

女の子たちは
みな驚くほど
いい子だ

望んでここに
来たわけでも
ないのだろうに

だからこそ
気になる

初日のあの
出来事は一体
何だったのか

誰に聞いても
はぐらかされて
しまうが――

やっ

ところ
でき

楽しく
遊んでる
みたいだね
島にもだいぶ
慣れたかな？

お兄さんに
折り入って
頼みがあるんだ

この子は
ツボミ

今朝の船で
この島に
来たんだ

お兄さんは、
ここに来る
人の中じゃ
『普通の人』
だからさ

……最初は
そういう人が
いいと思うんだ

この子のはじめて、
もらってやって
くれないかな

Girl Prostitution Island

しょうじょ
パイズン
ゼンゼン



少女売春島

— 前編 —

発行日 / 2024年12月30日

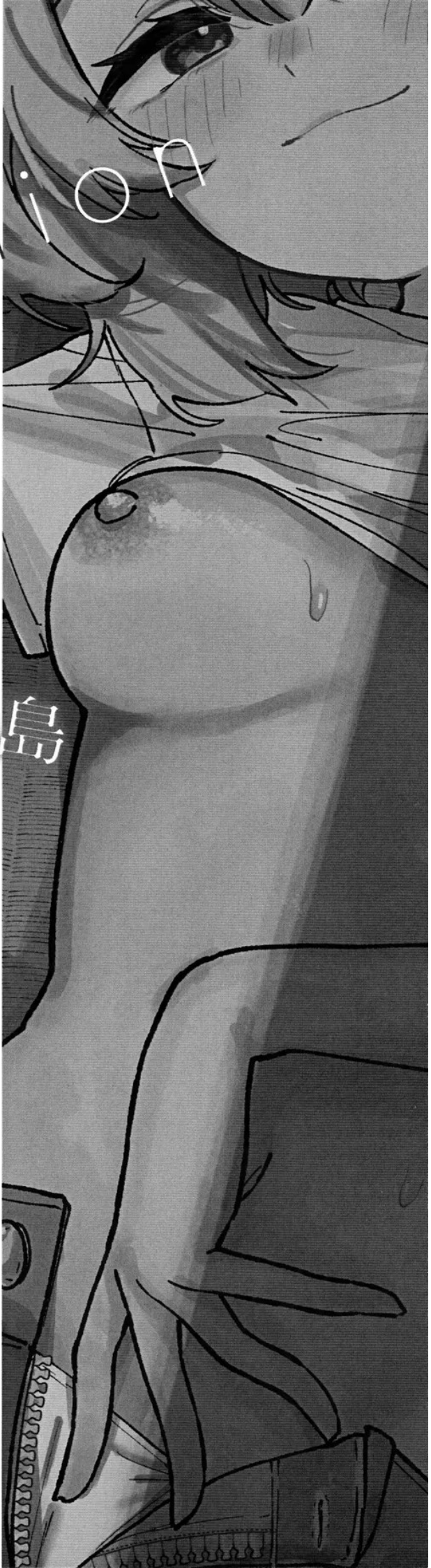
発行 / トリソルト

連絡先 / mail@u-genkainada.com

X(twitter) / @hagerock_salt

印刷所 / 株式会社ポプルス

@hagerock_salt
presents
Story by Nada_salt
Illustrations
by Dexys



少女
売春
あらすじ
島

STORY

Synopsis

Girl Prostitution Island

Story by Nada_salt
Illustrations by Dexys

日本海に浮かぶ小さな島。

かつて漁師たちの風待ちの港として栄えたその島は、今は見る影もなくさびれて無人島となっている——公には。

偶然手にした大金をもてあましていた主人公は、大枚をはたいて島へのチケットを手に入れた。そこはあどけない少女たちがたった一人の客をもてなす、一島まるごと貸し切りの花街。その名も「売春島」へのチケットを。

古びた海辺の街並み、少女しかいない世界で遊び惚ける主人公。

しかし一点、その島に伝わる奇妙な風習だけが気がかりだった——

しょうじょ
バイシユンじま
せんぺん



